

- 1. 国土交通記者会
- 2. 国土交通省建設専門紙記者会
- 3. 国土交通省交通運輸記者会
- 4. 筑波研究学園都市記者会

平成26年3月11日同時配布

平成26年3月11日  
道 路 局  
國土技術政策総合研究所

## 「道路政策の質の向上に資する技術研究開発 ～研究募集の審査結果～」について

国土交通省道路局では、「学」の知恵、「産」の技術を幅広い範囲で融合し、道路政策の質を一層向上させるため、平成16年10月より新道路技術会議（委員名簿：別紙1）を設置しております。

平成25年11月1日～平成25年12月11日の期間、平成26年度から取り組む技術研究開発の募集を実施したところ、50件の応募がありました。

応募いただいた技術研究開発について、平成26年3月10日に開催されました「第24回 新道路技術会議」（委員長 石田東生 筑波大学大学院教授）において審査を行った結果、別紙2のとおり6件が採択されましたのでお知らせいたします。

会議内容の詳細は、国土交通省道路局「道路政策の技術研究開発」のホームページに掲載しております。

（ホームページURL <http://www.mlit.go.jp/road/tech/index.html>）

※新道路技術会議では、道路政策の質の向上に資する技術研究開発を公募し、平成17年度8件、平成18年度3件、平成19年度3件、平成20年度5件、平成21年度6件、平成22年度4件、平成24年度10件、平成25年度5件を採択し、技術研究開発が行われているところです。

### ＜問い合わせ先＞

道路局国道・防災課

課長補佐 松田 和香

代表 03-5253-8111（内線 37862）

直通 03-5253-8493 FAX : 03-5253-1620

国土技術政策総合研究所

道路研究官 稲野 茂

直通 029-864-2219 FAX : 029-864-0178

※本記者発表資料については、国土交通省ホームページ（アドレス：<http://www.mlit.go.jp>）にも掲載しています。



## 新道路技術会議 委員名簿

委員長：石田 東生 筑波大学大学院 教授

委 員（ソフト分科会長）

：朝倉 康夫※ 東京工業大学大学院 教授

委 員：大野 栄治※ 名城大学 教授

委 員：加藤 一誠※ 日本大学 教授

委 員：清野 純史\*\*\* 京都大学大学院 教授

委 員：柴崎 亮介※ 東京大学空間情報科学研究センター 教授

委 員：末岡 徹\*\*\* (社) 日本建設業連合会 土木工事技術委員会  
専門委員

委 員：谷 和夫\*\*\* 防災科学技術研究所兵庫耐震工学研究センター 研究員

委 員：那須 清吾\*\*\* 高知工科大学 教授

委 員：二羽 淳一郎\*\*\* 東京工業大学大学院 教授

委 員：根本 敏則※ 一橋大学大学院 教授

委 員：野村 貢※ 建設コンサルタント協会インフラストラクチャー研究所 主任研究員

委 員：福井 恒明※ 法政大学 教授

委 員（委員長代理・ハード分科会長）

：前川 宏一\*\*\* 東京大学大学院 教授

委 員：森 猛\*\*\* 法政大学 教授

委 員：森川 高行\* 名古屋大学大学院 教授

（敬称略、五十音順、※ソフト分科会、\*\*\*ハード分科会）

「新道路技術会議」による審査の結果、採択された研究（研究テーマ名と応募時の提案概要等）は以下のとおり。

【政策領域 1：新たな行政システムの向上】

研究テーマ名と提案概要		研究代表者名
研究テーマ名	次世代モビリティ社会を踏まえた移動空間評価手法の開発研究*	
提案概要	超高齢社会や国際化、さらにはパーソナルモビリティ（以下、PM と称す）等次世代モビリティの時代潮流を踏まえると、道路の整備評価も従来の経済効率性だけでなく、移動者の快適性やストレス緩和等質的指標を組込むことが必要と考える。本研究は、従来、指標化が困難であった質的指標を生体情報によって定量化・モデル化することで、次世代モビリティ社会を念頭に置いた道路空間評価技術の開発、及び空間整備の方向性の示唆を目的とする。	山本 俊行 (名古屋大学)

\*FS（革新的研究調査）研究として採択。

【政策領域 8：道路資産の保全】

研究テーマ名と提案概要		研究代表者名
研究テーマ名	表面処理技術を応用した腐食鋼桁端部の性能回復技術に関する研究開発	
提案概要	本研究では特殊な表面処理技術を応用して、腐食面のブラスト処理、亜鉛粉末を付着した犠牲防食化および腐食凹凸面の平滑化を図り、腐食鋼桁端部に対する効果的かつ高耐久性を有する性能回復技術の提案を目的とする。	下里 哲弘 (琉球大学)

研究テーマ名と提案概要		研究代表者名
研究テーマ名	高性能鋳鉄床版の開発*	
提案概要	床版に適する高性能鋳鉄の一体成形性と自由形状性を活かした応力集中緩和と溶接レスの実現により、疲労性能の高い安価な床版を開発する。既存RC床版を軽量な鋳鉄床版に置き換えることにより、既存橋梁の長寿命化及び耐震性の向上を実現するとともに道路拡幅の可能性を高める。	山口 栄輝 (九州工業大学)

\*FS（革新的研究調査）研究として採択。

研究テーマ名と提案概要		研究代表者名
研究テーマ名	非破壊試験を用いたコンクリート構造物の表層品質検査システムの構築*	
提案概要	これまで直接的な検査が不可能とされてきた、コンクリート構造物の耐久性を支配する表層品質を、非破壊試験の組み合わせによって定量的かつ合理的に評価する新たなシステムを構築し、耐久的な新設道路構造物の建設に資する。	半井 健一郎 (広島大学)

\*FS（革新的研究調査）研究として採択。

【特定課題対応型】

研究テーマ名と提案概要		研究代表者名
研究 テーマ名	首都圏3環状道路の効率的な運用に関する研究開発	
提案概要	首都圏3環状道路の整備に伴う高速道路利用経路特性、一般道路を含む首都圏道路ネットワークへの影響、施設立地と土地利用への影響等を分析・モデル化し、とくに高速道路網の円滑性を確保するため、交通状態をリアルタイムにモニタリングして首都圏道路ネットワークを効率的に運用する方策を提案する。	大口 敬 (東京大学)

研究テーマ名と提案概要		研究代表者名
研究 テーマ名	首都圏三環状概成時を念頭においた料金施策とITS施策による非常時を含む総合的交通マネジメント方策の実用化	
提案概要	本研究は、首都圏三環状概成時において、日常のみならず非常時、さらに将来の維持管理・更新時のネットワーク運用計画策定を可能とする、最適な料金設定や効果的な高度道路交通システムを核とした総合交通運用マネジメントシステムを実装することを目的とする。	根本 敏則 (一橋大学)

政策領域1の1件、政策領域8の2件（※を付しているもの）については、FS（革新的研究調査）研究として採択。その他の政策領域（2～7、9、10）については該当無し。

なお、採択された各研究課題については、新道路技術会議での審査時の審議内容に基づき、研究内容の調整等を行った上で、平成26年度の技術研究開発を進めていただくこととなります（応募及び審査結果の概要については、参考を参照）。

以上

## 参考

## 道路政策の質の向上に資する技術研究開発の応募及び審査結果の概要

		タイプI 政策実現型	タイプII 技術ブレイク スルー型	タイプIII 新政策領域 創造型	タイプIV 特定課題 対応型	FS 革新的 研究調査	合計	
		応募 (件)	応募 (件)	応募 (件)	応募 (件)	応募 (件)	応募 (件)	採択 (件)
領域1	新たな行政システムの創造		1	1			2	1*
領域2	道路ネットワークの形成と有効活用	2	1	1			4	
領域3	新たな情報サービスと利 用者満足度向上	1	2				3	
領域4	コスト構造改革		1				1	
領域5	美しい景観と快適で質の 高い道空間の創出		2				2	
領域6	交通事故対策	1	5				6	
領域7	防災・災害復旧対策	2	3				5	
領域8	道路資産の保全	7	7			1	15	3*
領域9	沿道環境、生活環境	1					1	
領域10	自然環境、地球環境		1	1			2	
—	特定課題 (環状道路、点検)				9		9	2
合計(件)		14	23	3	9	1	50	6

\*領域1(1件・ソフト)、領域8(2件・ハード)は革新的研究調査(FS)採択を条件とする。